

2009 年度 再利用性を高める Quality プログラミング作法 指導者養成講座 ――2日間でわかる組込みに役立つソフトウェアエンジニアリングの肝――

品質が上がりにくい、コーディングのセンスを上げたい、設計にまで目配りができるエンジニアに育てたい……。貴社の新人研修・転換研修プログラムに少し手を入れて、組込み現場のレベルアップに役立てませんか。

ものごとのつかみ方、整理の仕方、そして、よいコードの書き方を身につけることはエンジニアの財産になります。この養成講座では、どのように指導すればプログラミングにおける再利用や構造化のセンスをアップできるか、という点に焦点をしばり「研修方法を指導」します。2008 年度に実施した研修結果もふまえ、特に指導者として必要な指導の勘所について、研修内容と教材を充実させております。企業研修だけでなく、大学・専門学校での教育にも役立つ内容です。

- 対象者
1. システム開発経験必須(5年以上が望ましい、組込み分野でなくてもよい)
 2. C 言語が読み書きできること
 3. 新入社員研修・転換研修の担当者(研修実施経験があることが望ましい)
または、プロジェクトマネージャー候補者

以上の 3 条件を全て満たす方。学校関係者の場合 1 については学内開発で可。

参加特典 養成講座修了者には次の特典が与えられます：

- ・ 新人研修プログラム「Quality プログラミング作法」のカリキュラムの実施とテキストの購入
(企業内研修の実施には受講者 1 名あたりテキスト費用:2,625 円(税込)が別途必要です)

担当講師 産業技術大学院大学 情報アーキテクチャ専攻 准教授 中鉢欣秀

講座内容 初級者研修プログラム「Quality プログラミング作法」のコンセプトを理解し、社内・校内でそれを活用して指導できるようにします。

初回に概要を話した後、1 ヶ月の間に事前課題を実施いただきます。

事前課題を提出いただき、それに基づき「Quality プログラミング作法」のコンセプト、指導ポイントを共有します。

「Quality プログラミング作法」の概要

目的・手段展開の考え方をベースに、関数を利用した 50 行程度の C 言語のプログラムを書けるプログラマを、構造化や拡張性・保守性等の品質を意識し、きれいで再利用性の高いソースコードを実装できる C 言語のエンジニアに育てる約 100 時間程度の研修プログラム。組込み産業推進会議 STC 部会推奨。

―詳しくは、竹田尚彦・大岩元「プログラム開発体験に基づくソフトウェア技術者育成カリキュラム」、情報処理学会論文誌 Vol.33 No.7 を参照してください。

日程 11 月 25 日(水) 午後 1 時～午後 5 時 キックオフレクチャー

12 月 21 日(月)、22 日(火) 午前 10 時～午後 5 時(2 日間) 本研修

開催場所 清風情報工科学院 〒545-0042 大阪市阿倍野区丸山通 1 丁目 6 番 3 号

<http://www.i-seifu.jp/iseifu/map.html>

定員 25 名(先着順)(最小開催人数 10 名)

受講料 組込みソフト産業推進会議会員価格 50,000 円

一般価格 70,000 円

(消費税はかかりません)

申込方法 関西経済連合会 組込みソフト産業推進会議事務局まで、所定の申込書を FAX または、E-mail(esip_info@kansai-kumikomi.net)で送付願います。

申込締切 11 月 13 日(金)

【本件問い合わせ先】

関西経済連合会 組込みソフト産業推進会議事務局

船戸 E-mail:t-funato@kankeiren.or.jp

TEL:06-6441-0106 FAX:06-6441-0443